

大東文化大学基準別基本方針
社会連携・社会貢献に関する方針

2018年12月17日大学評議会

基本方針

地域交流・社会貢献活動を推進し、「知の拠点」として地域社会から信頼される大学を目指す。

本学は、その有する知的、人的及び物的資源を活用して、社会に有為な人材を育成するとともに、社会から負託された役割を自覚し、公正で持続可能な社会の形成とその発展に貢献する。

このため、社会連携・社会貢献の分野では、本学が展開する教育研究活動の成果を適切に社会へ還元するとともに、教職員による社会貢献活動の一層の活性化と学生主体の社会貢献活動を推進するための指導・支援体制の強化を図る。そのことが本学における教育研究の充実と質の向上に繋がり、また自主性に富み、社会性とグローバルな視座をもった学生を育成するためには極めて有益であるとの考えからである。

については、上記の目標を達成するため、以下の6つの方針の下に取組みを進める。

1. 学生に対する社会貢献活動への参加の奨励とボランティア活動推進のための環境整備

学生が主体的に学び、思いやりと豊かな人間性、協調性、責任感をもって社会に貢献することのできる人間を育てる場として、学内、学外を問わず学生に対しボランティア活動等の社会貢献活動への参加を奨励し、そのための環境整備に努める。

2. 自治体との連携協働の推進と研究教育活動の促進

本学が展開する教育研究活動の成果を適切に社会へ還元するとともに、地域課題や地域政策をテーマとした本学と自治体との連携協力による協働研究事業（本学教職員と自治体職員とによる共同の調査研究活動）を推進し、その研究成果を自治体政策の企画・立案に繋げていく。とくに地域連携協定を締結している自治体との連携協力事業をさらに充実、発展させるとともに、これら自治体における学校教育、社会教育、リカレント教育をはじめ、文化・芸術活動、スポーツ活動、福祉・医療活動、産業・経済の振興、地域の活性などに貢献することにより、「知の拠点」として地域社会から信頼される大学を目指す。

3. 産学公民連携の高度化・進展化と地域交流の拡大、推進

多様な高等教育やリカレント教育を展開するとともに、地域社会が抱える諸課題を解決し、地域の自立と発展を促すことにより、持続可能な地域社会の構築とその発展に寄与することを目的とする大学・研究機関、企業、自治体、市民セクターが参加する、いわゆる産学

公民連携について、これを積極的に推し進める。とくに本学のキャンパスが所在する東京都板橋区や埼玉県東松山市とその周辺地域において、産学公民連携でプラットフォームを組織し、その活動を積極的に展開しつつ、地域交流を拡大していく。

4. オープンカレッジ・公開講座の充実と連携型生涯学習事業への協力、支援の強化

地域連携センターが中心となって展開している本学の生涯学習事業オープンカレッジの企画・運営の充実を図る。とくに本学の特色ある教育研究活動を反映したアカデミックな講座の開講数を増やすよう努める。あわせて学内の諸機関が実施している公開講座等の拡充を図るとともに、その広報を強化する。

東京都板橋区ほかの自治体連携生涯学習講座については、そのニーズを探りながら、新たな展開も視野に入れつつ、内容の充実と事業の拡大を目指す。また自治体及び関係機関・団体からの各種講座への講師派遣依頼に対しては積極的に応え、地域との信頼関係をより強固なものとしていく。

5. 社会連携・社会貢献活動を支援する体制の整備

本学が「知の拠点」として地域社会から信頼される大学となるための社会連携・社会貢献に関わる政策は、本学の生き残りをかけた戦略の主要な柱の一つであり、その政策のもとで展開する諸事業は不可欠のものである。そこで、社会連携・社会貢献事業を推進する司令塔機能と諸種の活動をバックアップする組織体制の整備を進める。あわせて多くの教職員が社会連携・社会貢献活動へ積極的に参加できるような体制を整備する。

6. 社会連携・社会貢献活動の実施状況及び効果の検証

社会連携・社会貢献活動の実施状況に関する実態の把握とそれらに対する評価及び効果の検証を定期的に行う。